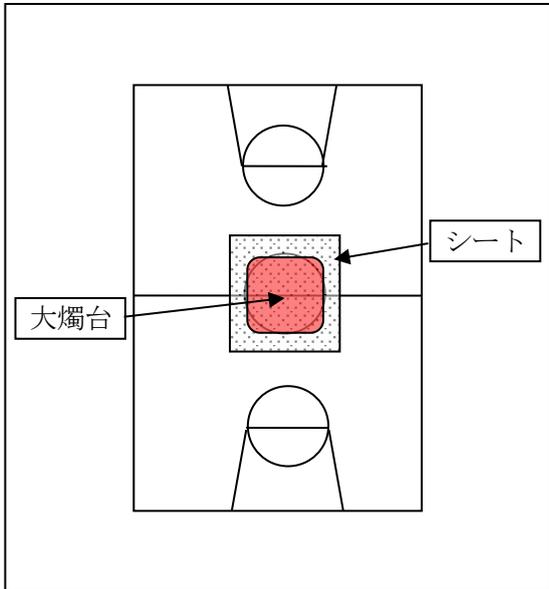
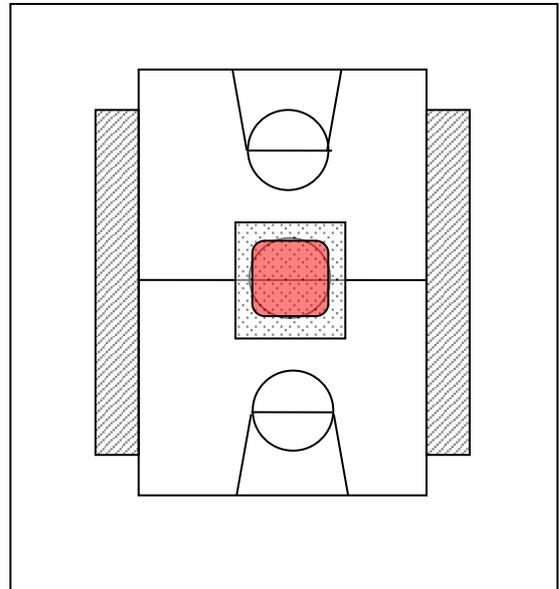


シートの敷き方

体育館の場合

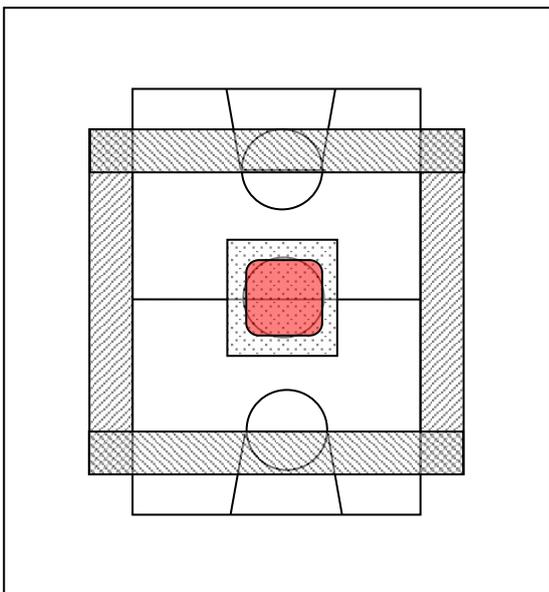


- ① バasketコートセンターサークル上に中央用ブルーシートを敷き、その上に大燭台を置く。

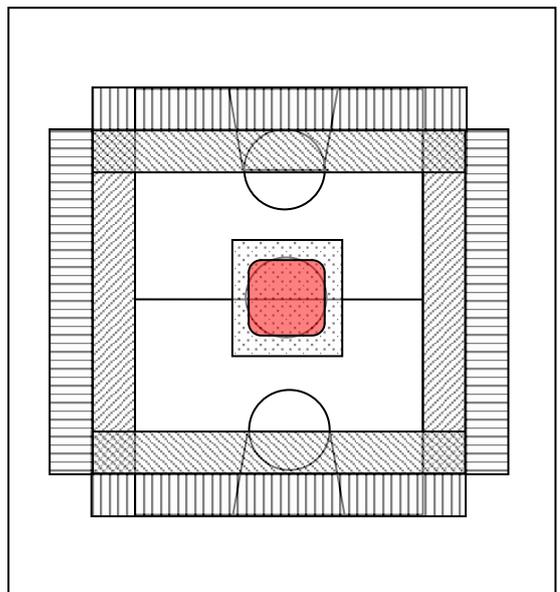


- ② バasketコートのサイドラインにフロアシート（緑色）の内側を合わせて敷く。

これは基本の形ですので、人数に応じて敷き方を変えることも可能です。
火の神が歩く経路や研修生が立つ場所には必ずシートを敷いてください。
とても滑りやすいため、テープで固定してください。



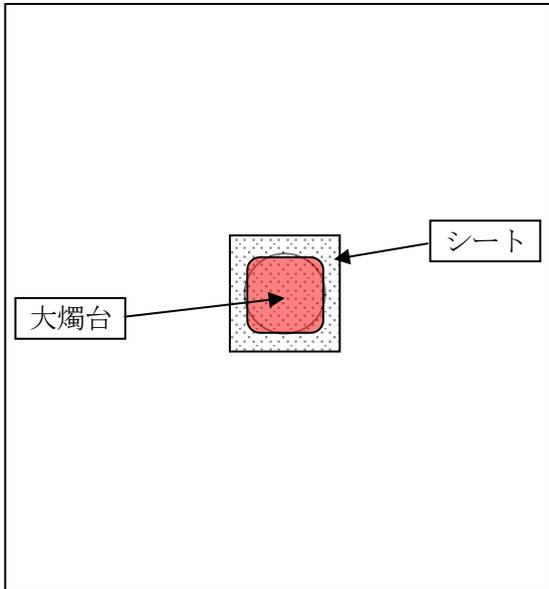
- ③ シートの角を合わせ、②と直角にシートを敷く。



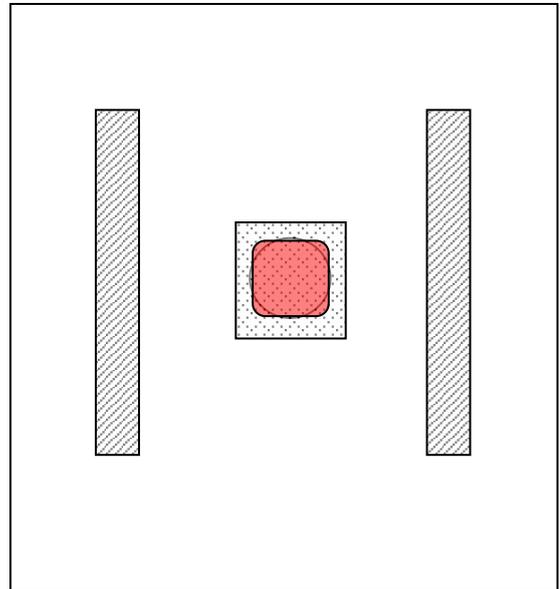
- ④ ②③の外側にシートを敷く

シートの敷き方

講堂・武道館の場合

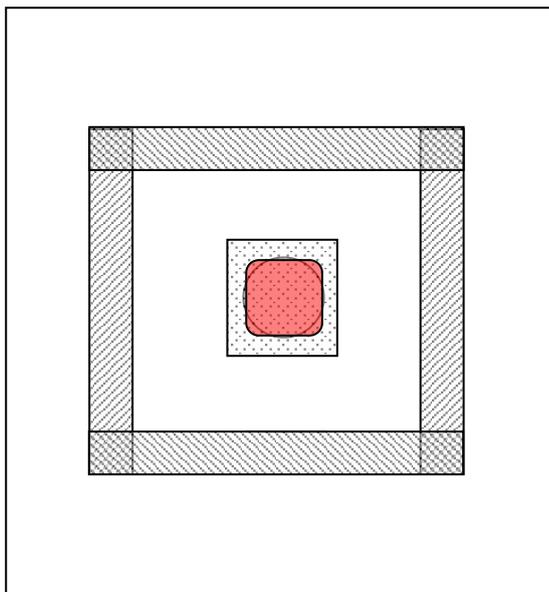


① 会場の中央にシートを敷き、その上に大燭台を置く。

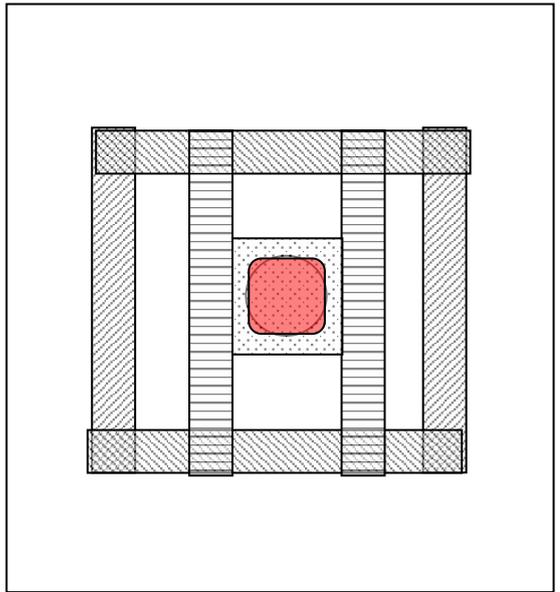


② 研修生が立つ位置にシートを敷いていく。

※講堂、武道館には目安となるラインがないため、目分量で敷く（内側のシートの端が重なるように）



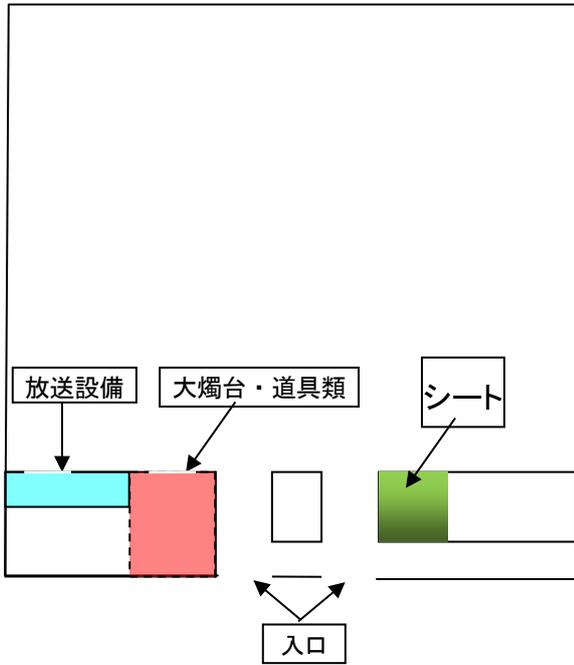
③ シートの角を合わせ、②と直角にシートを敷く。



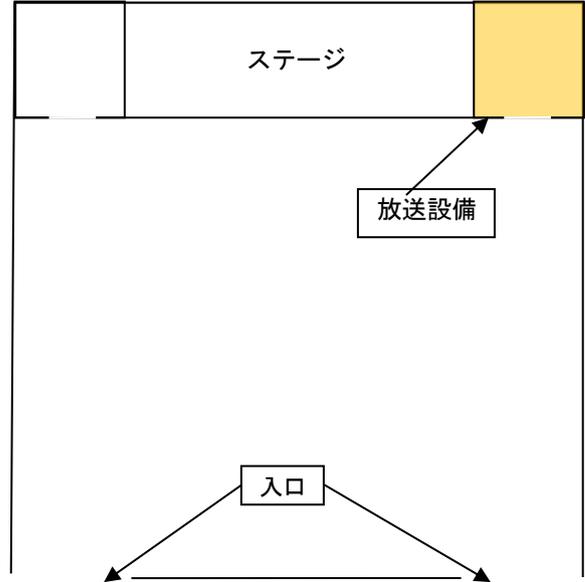
④ 火の神が歩く経路にもシートを敷く。

道具・放送設備の場所

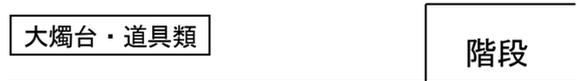
体育館



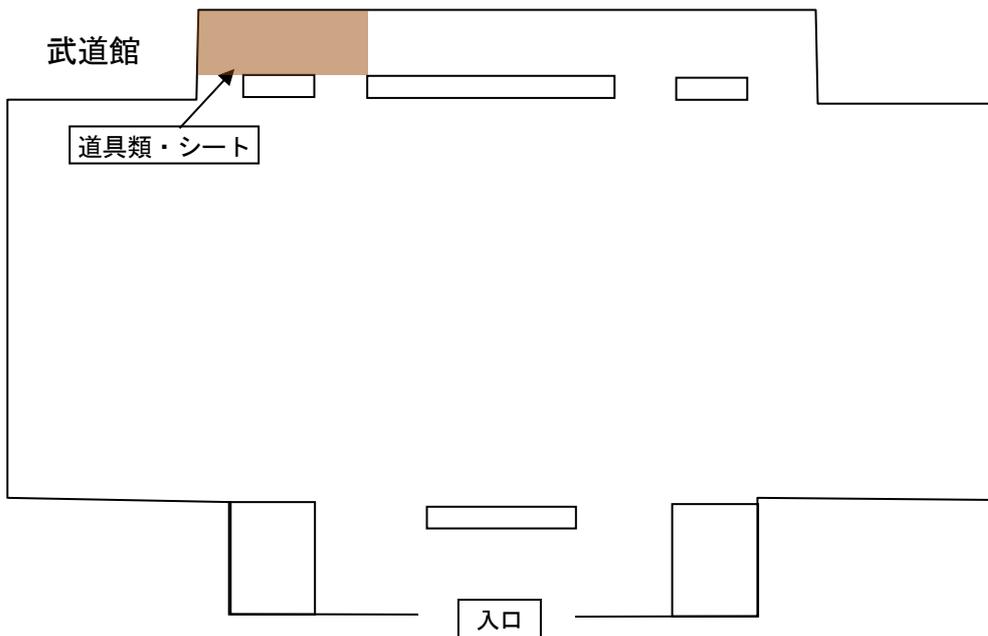
講堂



出入口



武道館



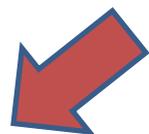
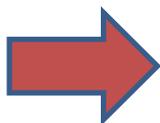
個人用燭台の作成方法（例）

キャンドルの集いでは、一人一人が個人用燭台を事前に作成してもらう必要があります。

※個人用燭台の作り方

①小ろうそくとアルミホイルを用意する。

②25センチ幅のアルミホイルを15センチほどカットし、アルミホイルの真ん中あたりにろうそくを立てる。

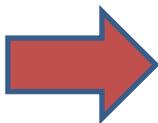


③ろうそくの下部分からアルミホイルをしぼっていく。

※アルミホイルの下部分が破れていないか確認する。

④アルミホイルを花卉のように外側から中側に織り込んでいく。

※外側から中側に織り込む際、花びらが上向きになるようにする。



※小ろうそくが燃え切るまでおよそ10分。ろうが短くなると、もっている手元が若干熱くなるので、気を付ける。